

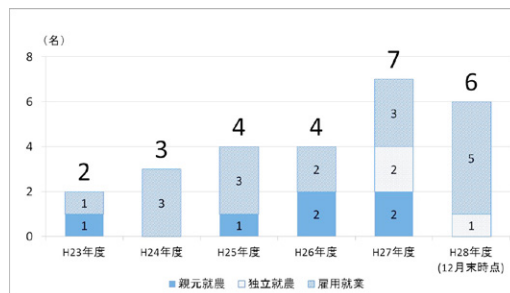
新たな人材確保に向けた受入体制の整備

糸魚川

糸魚川地域は県平均よりも農業従事者の高齢化が進み、地域内外からの人材の確保が急務となっています。近年は青年就農給付金制度や農の雇用事業等の支援制度の活用により、新規就農・就業者は増加傾向にあります。また、糸魚川市では首都圏等での移住イベントを積極的に開催し、移住希望者も多くなっています。

そこで、地域内の受入体制の強化を図るため、糸魚川市、JAひすい、普及指導センターで構成される糸魚川農業担い手ケース会議（以下「ケース会議」という）を毎月開催しています。

ケース会議では、新規就農・就業者（予定者を含む）それぞれの現在までの支援状況等について情報共有化を図り、これからの支援についての打合せを行っています。さらに、研修受入先の確保や新規就農者同士の交流促進を図るためのフォローアップ



糸魚川市における新規就農・就業者の推移

研修を開催するとともに、「確保」、「育成」、「定着」の各段階別に必要となる今後の支援策についても検討しています。

今年度は佐渡市羽茂地区に先進地視察を行い、市外からの新たな担い手の確保に向けた対応や関係機関・団体の役割分担等について学んできました。

非農家出身の就農・就業者が増加してきていることから、今後は基礎知識を習得する講座を設けるなど関係機関・団体が連携し、新規就農・就業者への支援を継続していきます。



佐渡市への先進地視察

20頭規模 繁殖和牛ハウス牛舎 完成

佐渡

佐渡は和牛繁殖が盛んな地域ですが、近年は高齢化により繁殖農家戸数は減少しています。しかし、高齢化に負けず個々の農家の和牛増頭の意向が非常に強くあります。

佐渡では温暖で雪が少ない気候的な特徴を活かし、構造的に簡易な牛舎による和牛の飼育が可能です。そこで、本年、補助事業を活用して佐渡市真野地区に20頭規模のハウス牛舎が完成しました。

この牛舎は敷料交換がしやすい設計となっています。またスタンション方式という一頭毎につなぐ施設が導入されており、個体管理がしやすく、労力削減が期待できます。

導入した繁殖農家では、管理のしやすいハウス牛舎により、繁殖雌牛を10頭増頭し、20頭を飼養する予定です。

このハウス牛舎は、完成する前から島内の繁殖農家の関心が高く、佐渡のモデル牛舎として注目され、視察が殺到しています。

普及指導センターでは、地域にマッチした増頭の取組を継続的に支援していきます。



完成したハウス牛舎 全景



ハウス牛舎内 (スタンション)